

| | 各社の考え方 |
|--------------|--|
| □ 算定を行う背景・目的 | <ul style="list-style-type: none">● 企業の社会的責任を果たす上で、サプライチェーン排出量全体の算定・報告が求められる中、当社においても委託輸送や様々な社内活動によるCO2排出量を算定することで、具体的な削減の検討やステークホルダーへの情報開示を目的とした。 |
| □ 算定結果の活用方法 | <ul style="list-style-type: none">● サプライチェーン排出量全体のバランスを把握し、ポテンシャルが大きいところに対し、効果的な対策を実施する為に活用する。● ステークホルダーへ情報を開示する為、CSRレポートやホームページに数値を公表する。 |
| □ 算定のメリット | <ul style="list-style-type: none">● サプライチェーンを構成する協力会社に情報を提供することで、理解や連携を促進し、より効果的に削減を推進することが可能になる。● 情報を開示することで、ステークホルダーへの説明責任の向上へとつながる。 |
| □ 社内の算定体制 | <ul style="list-style-type: none">● 本社の各部署でデータの集計・管理を行い、CSR推進部環境課が取り纏めて算定する。 |

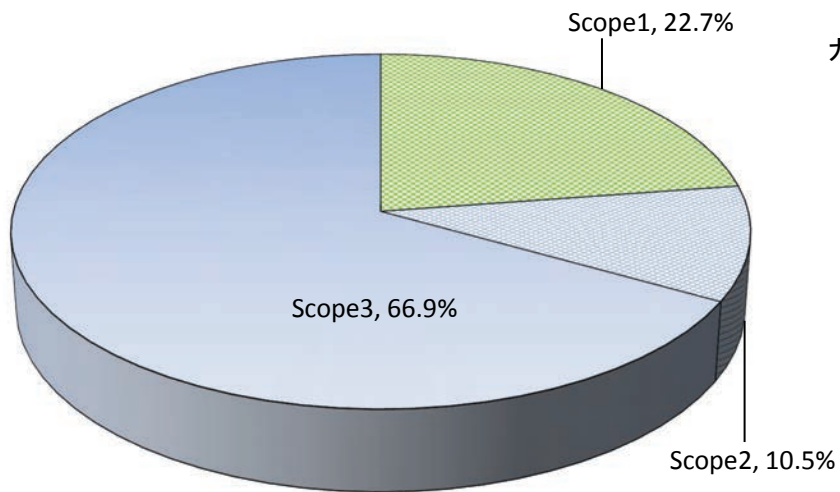
| | 各社の考え方 |
|----------------------|--|
| □ サプライチェーン排出量の削減に向けて | <ul style="list-style-type: none">● 算定結果からカテゴリ1・委託輸送分の全体に占める割合が大きい為、今後更なるモーダルシフトの推進や、輸送の効率化により、サプライチェーン全体での削減が可能となる。 |
| □ サプライチェーン排出量算定の課題 | <ul style="list-style-type: none">● カテゴリ1の占める割合が大きい為、他のカテゴリでの削減効果がわかりにくい。● 協力会社が低公害車を導入したとしても、現時点では正確なデータを入手できる環境がない為、数値に反映することができない。 |
| □ その他(任意) | <ul style="list-style-type: none">● 算定の妥当性・透明性を担保するため、第三者検証を取得している。 |

| カテゴリ | 算定方法 | |
|----------------------------------|--|--|
| | 活動量 | 原単位 |
| カテゴリ1「購入した製品・サービス」 | <ul style="list-style-type: none"> ● 自社で購入した製品・サービスを対象 ● 委託輸送分(幹線輸送・集配委託)を対象 | <ul style="list-style-type: none"> ● 購入金額当たりの原単位 ● エネルギー使用量や委託金額の原単位 |
| カテゴリ2「資本財」 | <ul style="list-style-type: none"> ● 固定資産台帳で計上した資産を対象 | <ul style="list-style-type: none"> ● 金額当たりの原単位 |
| カテゴリ3「Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー活動」 | <ul style="list-style-type: none"> ● 燃料・電気使用量の上流部分を対象 | <ul style="list-style-type: none"> ● 各エネルギー使用量当たりの原単位 |
| カテゴリ4「輸送、配送(上流)」 | <ul style="list-style-type: none"> ● 総排出量の1%未満であり、Scope1と重複することから除外する | |
| カテゴリ5「事業から出る廃棄物」 | <ul style="list-style-type: none"> ● 廃棄物種類別排出量を対象 | <ul style="list-style-type: none"> ● 廃棄物種類別の原単位 |
| カテゴリ6「出張」 | <ul style="list-style-type: none"> ● 出張旅費精算額を対象 | <ul style="list-style-type: none"> ● 交通手段別の原単位 |
| カテゴリ7「雇用者の通勤」 | <ul style="list-style-type: none"> ● 勤務地の都市区分と勤務日数・在籍人数を対象 | <ul style="list-style-type: none"> ● 勤務地の都市区分別の原単位 |
| カテゴリ8「リース資産(上流)」 | <ul style="list-style-type: none"> ● 該当活動なし | |
| カテゴリ9「輸送、配送(下流)」 | <ul style="list-style-type: none"> ● 該当活動なし | |
| カテゴリ10「販売した製品の加工」 | <ul style="list-style-type: none"> ● 該当活動なし | |
| カテゴリ11「販売した製品の使用」 | <ul style="list-style-type: none"> ● 該当活動なし | |

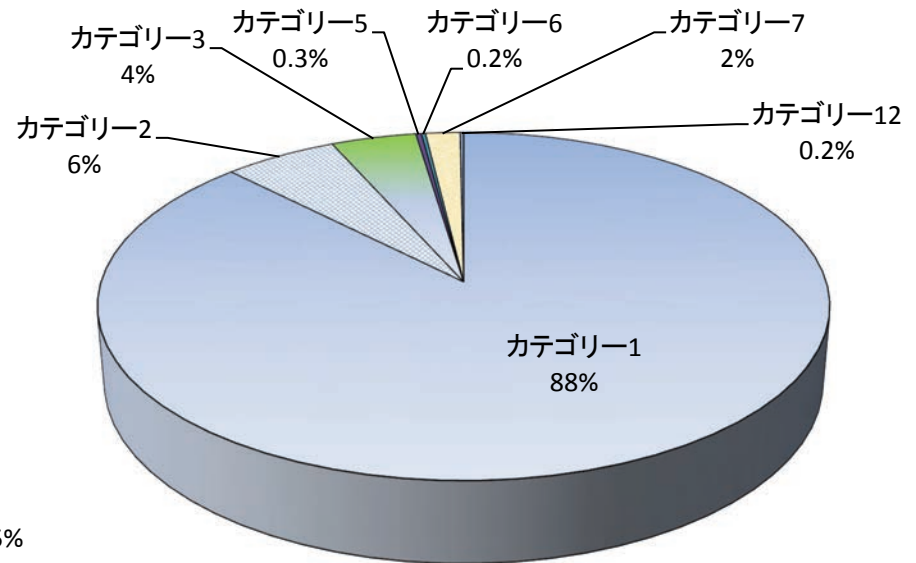
| カテゴリ | 算定方法 | |
|---|--|--|
| | 活動量 | 原単位 |
| カテゴリ12「販売した製品の廃棄」 | <ul style="list-style-type: none"> ● 自社オリジナル梱包資材の取扱量を対象 | <ul style="list-style-type: none"> ● 種類別廃棄物処理(焼却※)の原単位 ※処理方法が不明な為、保守的に算定する上で係数が多い方を選択 |
| カテゴリ13「リース資産(下流)」 | <ul style="list-style-type: none"> ● 該当活動なし | |
| カテゴリ14「フランチャイズ」 | <ul style="list-style-type: none"> ● 該当活動なし | |
| カテゴリ15「投資」 | <ul style="list-style-type: none"> ● 当社は投資事業者及び金融サービスを提供する事業者のいずれでもなく、基本ガイドラインが定める適用事業者ではないことから除外 | |
| 「その他」 | <ul style="list-style-type: none"> ● オプションカテゴリのため除外 | |
| ※原単位は排出原単位データベースver2.1及びカーボンフットプリントコミュニケーションプログラム基本データベースver1.01を参照 | | |

算定結果

● サプライチェーン排出量(2014年度)



サプライチェーン全体の排出量



Scope 3 内訳